

除染仮置場等の状況

■福島県全体

2019年6月14日

仮置場等の状況

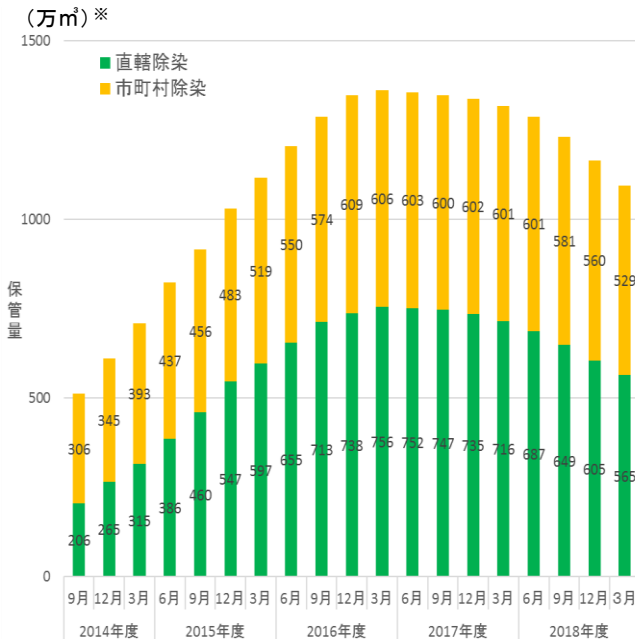
直轄除染 2019年 4月30日時点
市町村除染 2019年 3月31日時点

	仮置場等の総数	うち 保管中	うち 搬出完了	うち
				原状回復完了 (返地済み)
除染特別地域 (直轄除染)	322	192	130 (40%)	89 (28%)
汚染状況重点 調査地域等 (市町村除染)	997	616	381 (38%)	242 (24%)
合計	1,319	808	511 (39%)	331 (25%)

(出典) 汚染状況重点調査地域等(市町村除染)は、「市町村が設置する仮置場の整備状況等について(令和元年6月10日 福島県生活環境部除染対策課 公表資料)」より環境省作成。

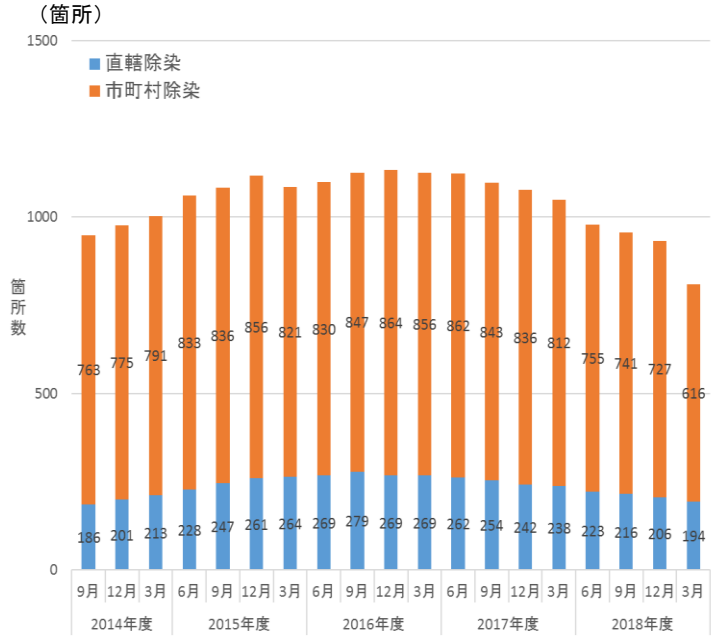
- 注1) 仮置場等 : 仮置場のほか、一時保管所、仮仮置場等を含む。
 注2) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。
 注3) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了した仮置場等を示す。
 注4) 原状回復完了(返地済み) : 原状回復等が完了し、地権者へ返地した仮置場等を示す。
 注5) 搬出完了及び原状回復完了の欄に記載の(%)は、仮置場等の総数に対する割合を示す。

【除去土壌等の保管量の推移】



※1袋=1m³に相当するものとして換算。

【仮置場等の箇所数の推移】



※仮置場の統合等により公表当時の数値とは異なる。

- 注1) 保管量 : 仮置場等で保管している数(保管物数)。1袋当たりの保管物の体積は、おおむね1m³(ただし、保管物の体積減少により、1袋が1m³より小さくなる場合もある)。
 なお、市町村除染分には、現場保管分を含む。
 注2) 箇所数 : 保管中の仮置場等の箇所数。
 ただし、市町村除染の2018年3月時点以前については、返地前の仮置場等数(「その他の仮置場」は除く)である。

■ 除染特別地域（直轄除染）

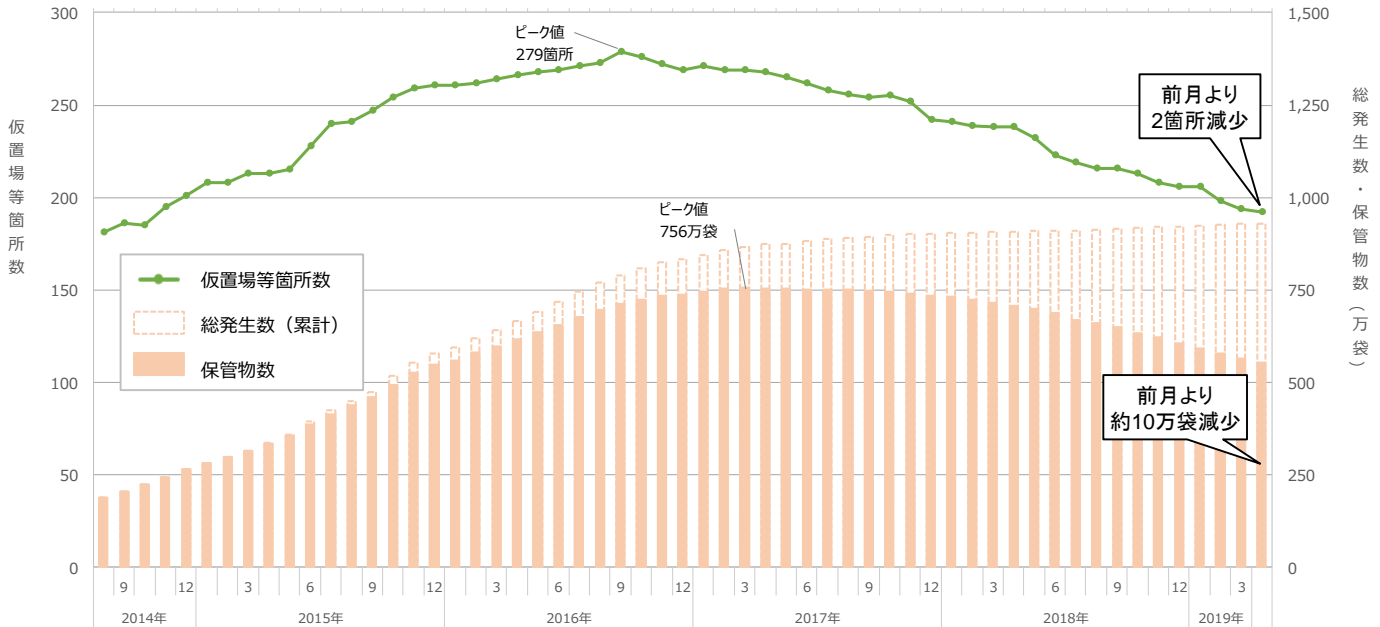
仮置場等の状況

（2019年4月30日時点）

市町村	仮置場等の総数	うち		
		保管中	搬出完了	原状回復完了
田村市	6	3	3	2
川内村	2	2	0	0
檜葉町	25	13	12	7
大熊町	18	5	13	8
川俣町	43	37	6	0
葛尾村	33	21	12	9
飯館村	103	70	33	20
南相馬市	18	12	6	5
浪江町	41	17	24	19
富岡町	22	8	14	13
双葉町	11	4	7	6
合計	322	192	130	89

- 注1) 仮置場等 : 仮置場のほか、一時保管所、仮仮置場等を含む。
 注2) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。
 注3) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了した仮置場等を示す。
 注4) 原状回復完了(返地済み) : 原状回復等が完了し、地権者へ返地した仮置場等を示す。

仮置場等箇所数と保管物数の推移



直近1年間の推移

	2018年								2019年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
仮置場等箇所数(箇所)	232	223	219	216	216	213	208	206	206	198	194	192
発生数(累計)(万袋)	909	910	911	913	916	917	920	922	924	927	928	930
保管物数(万袋)	698	687	669	659	649	634	622	605	593	578	565	554

- 注1) 仮置場等箇所数 : 除去土壌等を保管している仮置場等の箇所数を示す。
 注2) 保管物数 : 仮置場等で保管している数で、単位は「袋」。1袋当たりの保管物の体積は、おおむね1m³ (ただし、保管物の体積減少により、1袋が1m³より小さくなる場合もある)。
 注3) 除去土壌等の総発生数約930万袋の内訳は、保管物数約554万袋、搬出済み数 約376万袋 (うち仮設焼却炉への搬出は約240万袋、中間貯蔵施設等への搬出は約136万袋)
 ※数値は四捨五入して表記しているため、合計値は表示上の数字の合計と一致するとは限らない。

■ 汚染状況重点調査地域等（市町村除染）

仮置場等の状況

(2019年3月31日時点)

方部	市町村	仮置場等の総数			
			うち 保管中	うち 搬出完了	うち 返地済み
県北	福島市	42	40	2	0
	二本松市	353	198	155	142
	伊達市	121	81	40	8
	本宮市	26	24	2	1
	桑折町	38	21	17	6
	国見町	11	9	2	0
	川俣町	22	16	6	0
	大玉村	13	10	3	2
県中	郡山市	24	23	1	1
	須賀川市	74	60	14	14
	田村市	97	48	49	2
	鏡石町	4	0	4	3
	天栄村	14	6	8	2
	石川町	1	0	1	1
	玉川村	1	0	1	1
	平田村	1	0	1	1
	浅川町	0	0	0	0
	古殿町	1	0	1	0
	三春町	6	6	0	0
小野町	3	0	3	3	
県南	白河市	11	2	9	8
	西郷村	3	3	0	0
	泉崎村	6	2	4	0
	中島村	1	0	1	0
	矢吹町	4	2	2	1
	棚倉町	12	0	12	10
	矢祭町※	0	0	0	0
	埴町※	1	0	1	1
	鮫川村	1	0	1	1
会津	会津若松市	1	0	1	1
	猪苗代町	6	0	6	6
	会津坂下町※	1	0	1	1
	湯川村※	1	0	1	1
	柳津町※	0	0	0	0
	三島町※	0	0	0	0
	昭和村※	1	0	1	1
	会津美里町※	1	0	1	0
南会津	下郷町	1	0	1	1
	南会津町	0	0	0	0
相双	新地町	1	0	1	1
	相馬市	5	5	0	0
	南相馬市	37	33	4	1
	広野町	1	1	0	0
	川内村	9	9	0	0
いわき	いわき市	41	17	24	21
合計		997	616	381	242

注1) 「市町村が設置する仮置場の整備状況等について（令和元年6月10日 福島県生活環境部除染対策課 公表資料）」より環境省作成。

注2) 網掛けは、汚染状況重点調査地域に指定されていない市町村。「※」は、指定解除された市町村。

注3) 保管中：除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。

注4) 搬出完了：除去土壌等の搬出が完了した仮置場等を示す。

注5) 返地済み：原状回復等が完了し、地権者へ返地した仮置場等を示す。

【参考】

除染仮置場等の状況（2018年度末時点）

2019年6月14日

- 福島県内における除染仮置場等の2018年度末の状況（累積）は、搬出完了が509箇所、原状回復完了が331箇所となり、仮置場等の総数に対しそれぞれ39%及び25%の進捗となりました。
- また、除去土壌等の保管量は、約1,094万㎡まで減少しました。

<除染仮置場等の進捗状況（2019年3月31日時点、累積）>

	保管中	搬出完了	うち原状回復完了
除染特別地域 （直轄除染）	194箇所	128箇所（40%※）	89箇所（28%※）
汚染状況重点 調査地域等 （市町村除染）	616箇所	381箇所（38%※）	242箇所（24%※）
合計	810箇所	509箇所（39%※）	331箇所（25%※）

※ 仮置場等の総数（直轄322箇所、市町村997箇所）に対する比率

<原状回復する仮置場数（試算）>

※中間貯蔵施設への輸送量の見通し（2019年度は、400万㎡程度を目指す）や原状回復の実績に基づき試算。

